



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社
 コード番号 6466 URL <http://www.toavalve.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 真鍋 吉久
 (氏名) 飯田 明彦

TEL 06-6416-1184

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	1,736	14.3	118	—	128	—	110	—
28年9月期第1四半期	1,519	△21.2	△152	—	△140	—	△144	—

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 173百万円 (—%) 28年9月期第1四半期 △123百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	48.87	—
28年9月期第1四半期	△62.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	10,627	7,253	67.8
28年9月期	10,794	7,114	65.6

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 7,208百万円 28年9月期 7,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日と期末日を基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	△2.6	100	△59.5	140	△52.7	90	△61.2	38.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年9月期につきましては年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期1Q	2,678,600 株	28年9月期	2,678,600 株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	411,011 株	28年9月期	410,856 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期1Q	2,267,668 株	28年9月期1Q	2,334,404 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年10月1日から平成28年12月31日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続く中、政府・日銀による各種政策の効果もあり、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループは、発電所用バルブの製造とメンテナンスを主な事業としておりますが、東日本大震災の津波による東京電力福島第一原子力発電所事故以降、原子力発電所（以下、「原発」）の定期検査工事を事業のひとつの柱としたビジネスモデルに大きな変化が生じ、非常に厳しい環境の中での事業運営が続いております。

しかし、一昨年の九州電力川内原発、昨年の四国電力伊方原発の再稼働で、市場にも徐々に明るさが戻りつつあり、今後さらに再稼働が続く、原発の定期検査が再び当社グループの収益につながるまでには今しばらくの時間が必要と想定されるものの、事業環境は確実に回復に向かいつつあると考えております。

このような中、当第1四半期連結累計期間におきましては、バルブ事業では、九州電力川内原発、関西電力高浜原発の定期検査工事、原発再稼働準備のためのスポット工事のほか、火力発電所向けバルブ点検工事等を中心に事業展開してまいりました。

そしてこれらに加え、製鋼事業においては外部販売の強化、除染事業においては、地域除染から福島第一原発関連事業への領域拡大により、バルブ事業の減収分をカバーすべく全力で取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、製鋼事業、除染事業の増収を主な要因に、売上高は17億36百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益は1億18百万円（前年同期は1億52百万円の赤字）、経常利益は1億28百万円（同1億40百万円の赤字）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億10百万円（同1億44百万円の赤字）となりました。

報告セグメント別では、バルブ事業の売上高は11億97百万円（前年同期比0.3%増）で前期とほぼ横ばいながら、原発定期検査工事ほか役務提供での売上が増加したことと、当第1四半期連結累計期間の生産が好調であったため仕掛品をはじめとした、たな卸資産が増加したことで採算が改善し、セグメント利益は2億97百万円（前年同期比386.6%増）となりました。

製鋼事業は、好調であった前期からの受注残案件を中心に売上を計上した結果、売上高は3億50百万円（前年同期比35.0%増）となり、セグメント利益は21百万円の赤字（前年同期は36百万円の赤字）となりました。

除染事業はこれまでに引き続き、地域除染と放射線管理業務を中心に事業展開をしておりますが、前期からの継続案件を中心に、売上高は1億91百万円（前年同期比194.9%増）となり、セグメント利益は22百万円（前年同期は12百万円の赤字）となりました。

表：報告セグメント内の種類別売上高

報告セグメント	種類別の売上高	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (%)
バルブ事業	バルブ（新製弁）	281	234	△16.5
	バルブ用取替補修部品	282	252	△10.4
	原子力発電所定期検査工事	138	158	14.2
	その他メンテナンス等の役務提供	491	551	12.1
小計		1,194	1,197	0.3
製鋼事業	铸鋼製品	259	350	35.0
除染事業	地域除染等	64	191	194.9
消去又は全社		—	△3	—
合計		1,519	1,736	14.3

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産残高は106億27百万円で、前連結会計年度末に比して1億66百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が7億22百万円減少したことによるものです。

なお、現金及び預金が12億44百万円減少しているのは、当座の余剰資金を短期の有価証券で運用しているため、現金及び預金と有価証券の合計による比較では2億45百万円の増加となっております。

負債残高は33億73百万円で、前連結会計年度末に比して3億5百万円減少しました。これは主に仕入債務の支払手形及び買掛金の減少、約定弁済による借入金の減少、賞与引当金の減少などによるものです。

純資産の残高は72億53百万円で、その他有価証券評価差額金66百万円の増加、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比して1億39百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結期間では、平成28年11月10日に、「平成28年9月期 決算短信」で公表した通期の連結業績予想について、現時点においては受注・売上計画に重大な変更は生じていないことから、想定についても変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,642,646	2,398,317
受取手形及び売掛金	3,155,870	2,433,055
有価証券	10,031	1,499,664
商品及び製品	99,898	160,594
仕掛品	1,037,099	1,227,301
原材料及び貯蔵品	709,028	715,584
その他	80,314	96,248
貸倒引当金	△6,000	△6,000
流動資産合計	8,728,889	8,524,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	368,557	359,372
機械装置及び運搬具(純額)	567,458	537,724
土地	261,363	261,363
その他(純額)	88,109	84,137
有形固定資産合計	1,285,488	1,242,597
無形固定資産	177,958	163,537
投資その他の資産		
投資有価証券	546,310	641,570
その他	67,169	65,420
貸倒引当金	△11,544	△10,044
投資その他の資産合計	601,935	696,946
固定資産合計	2,065,382	2,103,080
資産合計	10,794,271	10,627,848
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	744,400	636,502
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	538,300	530,800
未払法人税等	7,503	15,289
賞与引当金	290,952	122,068
役員賞与引当金	14,914	—
受注損失引当金	396,179	321,583
その他	328,966	469,262
流動負債合計	2,331,216	2,105,506
固定負債		
長期借入金	379,414	252,614
繰延税金負債	65,525	94,405
P C B 処理引当金	18,160	18,160
退職給付に係る負債	764,991	764,991
その他	120,458	138,239
固定負債合計	1,348,550	1,268,410
負債合計	3,679,766	3,373,917

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,739,559	1,739,559
資本剰余金	2,019,967	2,019,967
利益剰余金	3,857,249	3,933,946
自己株式	△682,885	△683,058
株主資本合計	6,933,890	7,010,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174,974	241,737
為替換算調整勘定	7,205	13,027
退職給付に係る調整累計額	△40,245	△56,642
その他の包括利益累計額合計	141,934	198,122
非支配株主持分	38,680	45,394
純資産合計	7,114,505	7,253,930
負債純資産合計	10,794,271	10,627,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,519,013	1,736,566
売上原価	1,316,602	1,234,854
売上総利益	202,411	501,711
販売費及び一般管理費	354,659	382,785
営業利益又は営業損失(△)	△152,248	118,926
営業外収益		
受取利息	966	233
受取配当金	5,214	5,408
雑収入	9,391	6,591
営業外収益合計	15,573	12,232
営業外費用		
支払利息	4,234	2,149
雑損失	54	168
営業外費用合計	4,288	2,318
経常利益又は経常損失(△)	△140,963	128,840
特別利益		
固定資産売却益	259	—
特別利益合計	259	—
特別損失		
固定資産処分損	5,070	1,309
特別損失合計	5,070	1,309
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△145,774	127,531
法人税、住民税及び事業税	1,449	8,743
法人税等調整額	3,145	1,245
法人税等合計	4,594	9,988
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△150,368	117,542
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,434	6,713
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△144,934	110,829

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△150,368	117,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,242	66,763
為替換算調整勘定	1,838	5,821
退職給付に係る調整額	1,684	△16,396
その他の包括利益合計	26,766	56,188
四半期包括利益	△123,602	173,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△118,167	167,017
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,434	6,713

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	除染事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,194,380	259,707	64,926	1,519,013	—	1,519,013
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,194,380	259,707	64,926	1,519,013	—	1,519,013
セグメント利益又は損失(△)	61,167	△36,911	△12,247	12,009	△164,257	△152,248

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△164,257千円には、セグメント間取引消去390千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△164,647千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	除染事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,194,564	350,560	191,440	1,736,566	—	1,736,566
セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,303	—	—	3,303	△3,303	—
計	1,197,868	350,560	191,440	1,739,869	△3,303	1,736,566
セグメント利益又は損失(△)	297,645	△21,461	22,960	299,144	△180,218	118,926

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△180,218千円には、セグメント間取引消去1,800千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△182,018千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。